

令和6年度シラバス(地理歴史)

学番21 県立阿賀黎明高等学校

教科(科目)	地理歴史(地理総合)	単位数	2単位	学年(学類)	2学年
使用教科書	帝国書院『高等学校 新地理総合』、帝国書院『新詳高等地図』				
副教材等	帝国書院『高等学校 地理総合ノート』、とうほう『新編地理資料』、とうほう『新編フォトグラフィア地理図説2024』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①自分と社会の関係性を見つめ、他と協働しながら取り組む力を育成します。 ②複雑化する社会や地域に関心を持ち、様々な考えを受け入れる力を育成します。 ③好奇心をもって自ら学び続け本質を見極めようとする姿勢と力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	①あらゆる進路に対応できるよう3つのカリキュラムを設定します。 ②少人数制により個々にあったきめ細かな指導を行います。 ③地域と連携し、地域資源を活用した教育活動を行います。 ④生徒が興味をもった題材を地域の大人が伴走しながら探究するプロジェクト学習に取り組みます。

2 学習目標

<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 地理的な見方・考え方や地図や地理情報システムの活用をはじめとする地理的技能を身につけるとともに、文化の多様性を理解する</p> <p>(2) 異文化を理解し、多様な自然と人間の相互関係やそこから生まれた文化に注目し、多面的・多角的に考察し表現する力を養う</p> <p>(3) 地理的諸事象についてよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う</p>

3 指導計画

月	単元	教材又は項目	学習活動(指導内容)	評価方法	時間
4	1-1章 地図と地理情報システム	1-1-1地球上の位置と時差 1-1-2地図の役割と種類	・知識・技能: 地図読図や地理情報システムの役割、有効性について理解する ・思考・判断・表現: 地図の目的や用途・内容・活用を考察し、表現する ・主体的に取り組む: 地図を利用し、社会問題を主体的に追究し解決する	・定期考査 ・学習ノートの確認 ・振り返りシート ・授業中の発言、発表 ・授業への参加、取り組み	11
5	1-2章 結びつきを深める現代世界	1-2-1現代世界の国家と領域 1-2-2グローバル化する世界	・知識・技能: 読図を基に、方位・時差・位置・領域・国家間の結びつきについて理解する ・思考・判断・表現: 主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置・国家間の結びつきを考察し、表現する ・主体的に取り組む: 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野に、		
	2-1章 生活文化の多様性と国際理解	2-1-1世界の地形と人々の生活	・知識・技能: 地形と生活文化の関わりを理解する ・思考・判断・表現: 地形と生活文化に着目し主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する ・主体的に取り組む: 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決する		
		考査			1
5		2-1-2世界の気候と人々の生活	・知識・技能: 気候要素と人々の生活の関わりを理解する ・思考・判断・表現: 気候と生活文化に着目し主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する ・主体的に取り組む: 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決する	・定期考査 ・学習ノートの確認 ・振り返りシート ・授業中の発言、発表 ・授業への参加、取り組み	10
6		2-1-3世界の言語・宗教と人々の生活	・知識・技能: 言語・宗教と人々の生活の関わりを理解する ・思考・判断・表現: 言語・宗教と生活文化に着目し主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する ・主体的に取り組む: 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決する		
		考査			1
7	3-1章 自然環境と防災 3-2章 生活圏の調査と地域の展望	3-1-1日本の自然環境 3-1-2地震・津波と防災 3-2-1生活圏の調査と地域の展望	・知識・技能: 自然環境と自然災害を理解し、ハザードマップ・新旧地形図・各種地理情報等の見方を身につけ、地理的な問題の解決に向けた取組や探究する手法などを理解する ・思考・判断・表現: 自然条件・社会条件との関わり、地域の共通点・差異、持続可能な地域づくりに着目し、課題を主体的に追究、解決する ・主体的に取り組む: 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決する	・定期考査 ・学習ノートの確認 ・振り返りシート ・授業中の発言、発表 ・授業への参加、取り組み ・ワークシート、レポート	13
8 9		3-1-3火山災害と防災 3-1-4気象災害と防災 3-1-5自然災害への備え	・知識・技能: 自然環境と自然災害について、特徴・備え・対応・規模・頻度等を理解する ・思考・判断・表現: 自然条件・社会条件との関わり、地域の共通点・差異、持続可能な地域づくりに着目し、課題を主体的に追究、解決する ・主体的に取り組む: 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決する		
		考査			1
10	2-1章 生活文化の多様性と国際理解 3-2章 生活圏の調査と地域の展望	2-1-4歴史的背景と人々の生活 3-2-1生活圏の調査と地域の展望	・知識・技能: 歴史と人々の生活の関わりを理解する ・思考・判断・表現: 歴史と生活文化に着目し主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する ・主体的に取り組む: 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決する ・修学旅行先の地域と地元地域の共通点・差異等を理解し、思考・判断・表現し、地域の特性把握に主体的に取り組む	・定期考査 ・学習ノートの確認 ・振り返りシート ・授業中の発言、発表 ・授業への参加、取り組み ・ワークシート、レポート	14
11		2-1-5世界の産業と人々の生活	・知識・技能: 産業と人々の生活の関わりを理解する ・思考・判断・表現: 産業と生活文化に着目し主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する ・主体的に取り組む: 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決する		
		考査			1
12 1 2	2-2章 地球的課題と国際協力	2-2-1複雑に絡み合う地球的課題 2-2-2地球環境問題 2-2-3資源・エネルギー問題 2-2-4人口問題 2-2-5食料問題	・知識・技能: 地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題を基に、各地で共通する課題や傾向性・相互関連性について理解し、各国と取組や国際協力についても理解する ・思考・判断・表現: 各課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりに着目し、課題を主体的に追究、解決する ・地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決する	・定期考査 ・学習ノートの確認 ・振り返りシート ・授業中の発言、発表 ・授業への参加、取り組み	14

	考查 2-2-6都市・居住問題	・知識・技能:都市・居住問題を基に、各地で共通する課題や傾向性・相互関連性について理解し、各国と取り組む国際協力についても理解する ・思考・判断・表現:各課題について、持続可能な社会づくりに着目し、課題を主体的に追究、解決する ・地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決する	・定期考查 ・学習ノートの確認 ・振り返りシート ・授業中の発言、発表 ・授業への参加、取り組み	1 3
--	---------------------------	--	--	------------

4 評価の観点と趣旨

観点	(1) 知識・技能	(2) 思考・判断・表現	(3)主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・地図読図や地理情報システム利用から、適切な情報を引き出している ・世界の生活文化を理解・尊重し、国際理解の重要性について理解している ・様々な地理事象を理解し、地球的課題の相互関連性を理解している	・地図や地理情報システムの適切な利用の仕方を、多面的・多角的に考察し、表現している ・生活文化の多様性と国際理解について、地球的課題と国際協力について、地域的課題について、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している	・よりよい社会生活のために、地図や地理情報システムを利用し、課題を主体的に追究、解決しようとしている ・生活文化の多様性と国際理解について、地球的課題と国際協力について、地域的課題について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究、解決しようとしている

5 評価方法

観点	(1) 知識・技能(40%)	(2) 思考・判断・表現(30%)	(3)主体的に学習に取り組む態度(30%)
評価方法	・定期考查、小テストの評価	・定期考查、小テストの評価 ・学習ノート・課題プリントの達成度 ・授業での発言・発表 ・プレゼンテーション	・授業への参加 ・課題・レポートへの取り組み ・授業での発言・発表 ・プレゼンテーション

6 担当者からの一言

・定期考查や課題提出だけでなく、授業態度や発表姿勢等も重要な評価基準となりますので意欲的に取り組んでください。
